

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス KID ACADEMY 芦屋校		
○保護者評価実施期間	2025年11月11日 ～ 2025年11月24日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2025年11月11日 ～ 2025年11月24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた活動の提供をしています。 個別活動、集団活動においても必要な課題に合わせて支援を行う事により、個々の成長に繋げるようにしています。 専門職員の指導員が数人配属されています。特性に合わせた専門的支援を行うことにより、お子様の特性・行動など細かい観察からより良い支援が提供できます。	個別学習ではひとりひとりに合わせた課題を提供しています。今そのお子様に何が必要なのかを見極めて課題を決めています。お子様が意欲的に取り組めるよう環境にも配慮しています。	学習の評価では職員全員で精査していき、認知能力の向上をめざしていきます。 非認知活動においては、お子様の想像力や探求心、主体性を養えるよう取り組んでいきます。
2	小学校から高校生のお子様を利用しており、異年齢との関わりを持つ事ができます。 その中から年上のお友達は年下のお友達に教えてあげたり、手伝ってあげたりし、役に立つ事で自己肯定感に繋がっています。	非認知活動などで、準備や物を配るなどあえてお手伝いしてもらいます。その中から人の役に立つ喜びや責任感を養っていく事に繋げています。	コミュニケーション力や人間関係・社会性を培えるよう取り組んでいきます。
3	職員全員でお子様の特性、発達段階の理解をし共通した支援をしています。お子様、ご家族に寄り添った支援を心掛けています。	日々職員間で情報共有を行っています。 細かい事でも気になる事は必ず共有しています。	普段から保護者様とのコミュニケーションを大事にしています。 困り事や悩み事など相談しやすい関係性を築いていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースが限られており、活動には工夫が必要になります。 運動も限られた運動しかできません。	施設外で身体を動かす活動なども取り入れていかなければならないですが実現が難しい状況となっています。	長期休みの際には、体育館などの施設を借りて活動を行うなどの機会を設けることも考えていく必要があります。
2	学習スペースとフリースペースを分けた配置にしていますが、自由時間で活動しているお子様と学習時間で集中して取り組んでいるお子様の隔たりのないことで集中の妨げになってしまうことがあります。	部屋が一つなのと、下校時間にばらつきがあり、遅い下校のお子様の場合はどうしても周りで遊んでいるお友達の声などが気になって集中できない事があります。	高学年や中学生の学習スペースの確保について、利用曜日や時間の調整や物理的なスペースを広げることができないか引き続き検討していきたいと考えております。
3	玄関に段差があること、支援室が2階でエレベーターがありません。 身体が不自由なお子様もいるため階段は介助や見守りが必要になります。	エレベーターを付けるなどは難しいので危険がないよう気を付けています。	階段はスペースを開けて昇降しています。 降りる時、昇る時もお子様の名前を読んで、少人数で昇降しています。